

東洋史研究会

一九六六年八月二十五日 印刷
一九六六年九月一日 発行



第49卷 第5号 史学・地理学・考古学

室町・戦国期の小早川氏の領主制……………田 端 泰 子 (1)

古代の土地売買について (下) ……………菊 地 康 明 (30)

明代茶馬貿易の研究 (上) ……………谷 光 隆 (83)
—茶法を中心として—

イギリスにおけるグレゴリウス改革と
国家観の世俗化……………鈴木 利 章 (102)
—Theocratic Monarchy から Secular Monarchy へ—

シベリアの狩猟・漁撈民とトナカイ飼育……………斎 藤 晨 二 (139)

学界消息

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部東洋史研究室
東洋史研究会

於・立命館大学文学部

笠岡湾の農業干拓に伴なう用水問題

応用地理研究の現状

水山 高幸
小林 博

——アンケートの報告——

第二二回歴史地理部会

五月二四日(土)午後二時

於・京都大学文学部

討議テーマ：奈良県における明治行政村の成立過程

——山田正浩氏の報告を中心として——

第二三回歴史地理部会

七月二日(土)午後二時より

於・京都大学薬友会館

討議テーマ：その後の国府の歴史地理的調査の資料

——藤岡謙二郎氏の報告を中心として——

新入会ご希望の方へ

史学研究会へ入会ご希望の方は、住所(史

林送先)・氏名・専攻および送本希望巻号を

明記の上、会費(一年六冊一、五〇〇円)

を添えて、直接当会宛お申込下さい。(但

し、学校図書館等公機関は、会費後払で結

構です。所定の書類を作成いたします)ご

入会の際、バックナンバーを併せてお申込

いただいても結構です。なおご送金は、なるべく振替口座(京都五一五五番史学研究会)をご利用下さい。

「史林」投稿規定

本誌への投稿規定は次の通りです。ふってご寄稿下さい。

◇資格 本会々員であること。

◇原稿の種類・長さ

○研究論文 原則として四百字詰五〇

枚

○研究ノート 右同

以上には四百字以内の要約と、英文要約(又は翻訳用要約)添付のこと

○資料紹介 随意

○学界動向 四百字詰三〇枚以内

○批判と反省 右同

○書評 四百字詰二五枚以内

○紹介 四百字詰三枚程度

◇送先 「史林」編集委員会宛

◇なお、「史林」の論文掲載の順序は、いわゆる巻頭論文制を採用せず、日本史・東

洋史・西洋史・地理学・考古学の順、各

専攻の中では時代順・地域順となっています。

前もってご了承お願いいたします。

委員会だより

◇本会の電話番号、京都大学の内線番号の全面変更により、此の番号となりました。

○七五七七七八一一(京都大学)

内線 二六二九

◇本誌への投稿規定は上記の通りです。投稿資格は、本会々員であること以外には何の制限もありませんので、どしどしお寄せ下さい。現在の原稿手持状況は、さまざまの方ではありません。時間的にさして御迷惑をおかけしない筈です。

◇各位の会費の残高は、同封「お知らせ」の通りです。赤字の方は、年末までに必ず清算下さいますようお願いいたします。

一九六六年八月廿五日印刷 定価三〇〇円
一九六六年九月一日発行

史林 (第四九巻第五号)

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

発行所 史学研究会

発行人 理事長 小葉田 淳
振替京都五一五五番

印刷所 京都市下京区西七条御所ノ内町五〇
中村印刷株式会社

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XLIX, No. 5

Sept., 1966

CONTENTS

Articles :

- The Seignorial Regime of the *Kobayakawas*
in *Muromachi* and *Sengoku* Era..... *Y. Tabata* (1)
- Land Dealing in the Ancient Japan (III)..... *Y. Kikuchi* (30)
- A Study of Tea and Horse Trade in the
Ming 明 Dynasty *M. Tani* (83)
- The Gregorian Reform and the Secularization
of the Monarchy-Conception in England..... *T. Suzuki* (102)
- Fishing and Hunting People and
Reindeer-breeding in Siberia *S. Saitô* (139)

News

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan